

熊本県における取り組み

1

熊本県の国指定装飾古墳

- ① 弁慶ヶ穴古墳（山鹿市）
- ② 鍋田横穴（山鹿市）
- ③ チブサン・オブサン古墳（チブサン古墳）（山鹿市）
- ④ 大村横穴群（人吉市）
- ⑤ 江田船山古墳 附 塚坊主古墳・虚空蔵塚古墳（塚坊主古墳）（和水町）
- ⑥ 石貫ナギノ横穴群（玉名市）
- ⑦ 石貫穴観音横穴（玉名市）
- ⑧ 大坊古墳（玉名市）
- ⑨ 永安寺東古墳・永安寺西古墳（永安寺東古墳）（玉名市）
- ⑩ 釜尾古墳（熊本市）
- ⑪ 千金甲古墳（乙号）（熊本市）
- ⑫ 千金甲古墳（甲号）（熊本市）
- ⑬ 塚原古墳群（石之室古墳）（熊本市）
- ⑭ 井寺古墳（嘉島町）
- ⑮ 小田良古墳（宇城市）

2



図 熊本県の国指定装飾古墳

● 大村横穴群（人吉市所在）



（人吉市教育委員会提供）

● 小田良古墳（宇城市所在）



（宇城市教育委員会提供）

5

● 小田良古墳（宇城市所在）



（宇城市教育委員会提供）

6

- 江田船山古墳 附 塚坊主古墳
・ 虚空蔵塚古墳（塚坊主古墳・和水町所在）



整備以前の状況（県立装飾古墳館提供）

7

- チブサン・オブサン古墳
（チブサン古墳・山鹿市所在）



（県立装飾古墳館提供）

8

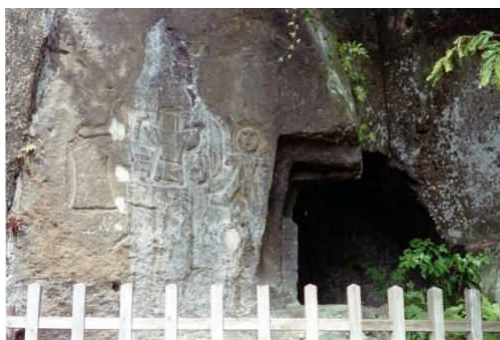
● チブサン・オブサン古墳
(チブサン古墳・山鹿市所在)



(県立装飾古墳館提供)

9

● 鍋田横穴 (山鹿市所在)



(熊本県HP引用)

10

1 経緯

2 近年の課題と今後の方向性

3 環八代海（不知火海）沿岸の装飾古墳の
調査概要と方法

参考文献 昭和59年 熊本県装飾古墳総合調査報告書

昭和59年 熊本県装飾古墳総合調査報告書



1 (1) 草創期

● 釜尾古墳（熊本市北区釜尾町所在）

熊本県内で最初に文献資料に登場する装飾古墳

『肥後国誌』によれば、当時の飽田郡北部町で耕作中、発見。

13

1 (1) 草創期

● 釜尾古墳（熊本市北区釜尾町所在）



14

1 (1) 草創期

● 熊本県の取り組み 『古墳発顕記録』

- ・明治13年、熊本県は県下で古墳が発見された場合、調査報告を命じている。

1 (1) 草創期

● 熊本県の取り組み 『古墳発顕記録』

- ・宇土郡花園村(現・宇土市)のばんめん晩免古墳、うろの潤野古墳が発見され、熊本県に報告される。

1 (1) 草創期

● 熊本県の取り組み『古墳発顕記録』



晩免古墳
(宇土市所在・市指定)

(宇土市デジタルミュージアム引用)

17

1 (1) 草創期

● 京都帝国大学考古学研究室の活動

- ・『肥後に於ける装飾ある古墳及び横穴』（大正8年）
(京都帝国大学文科大学考古学研究報告, 第1冊)

18

1 (1) 草創期

● 熊本県の取り組み

・大正4年、『熊本県告諭第一号』を以て、「史蹟調査保存ニ関スル規程」発令。

・『熊本県令第二十五号』による「名勝・旧蹟・古墳墓・天然記念物ニ関スル規定」制定。

* 大阪府とともに全国に先駆け、登録台帳作成することを条文化した。

19

1 (2) 県文化課発足

● 昭和47年、熊本県教育委員会に文化課が発足。



20

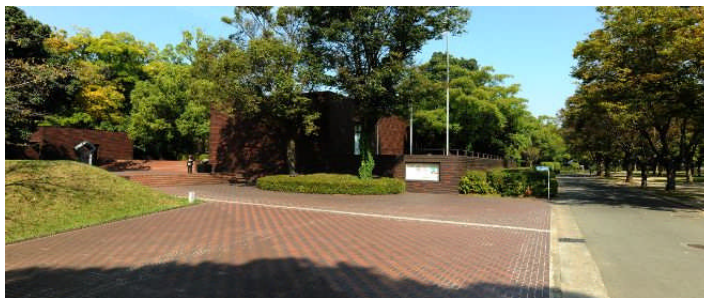
1 (2) 県文化課発足

- 昭和48・49年度、56・57年度
 - ・「装飾古墳総合調査」、「熊本県の装飾古墳白書」
 - ・「熊本県装飾古墳総合調査報告書」

21

1 (3) 熊本県立美術館

- 昭和51年 熊本県立美術館の開館



熊本市中央区二の丸所在（熊本県立美術館HP引用）

22

1 (3) 熊本県立美術館

● 昭和51年 熊本県立美術館の開館



弁慶ヶ穴古墳（山鹿市）
レプリカ
（熊本県立美術館HP引用）

23

1 (3) 熊本県立美術館

● 昭和51年 熊本県立美術館の開館



鍋田横穴（第27号・山鹿市）
レプリカ
（熊本県立美術館HP引用）

24

1 (3) 熊本県立美術館

● 昭和51年 熊本県立美術館の開館



チブサン・オブサン古墳
(チブサン古墳・山鹿市)
レプリカ
(熊本県立美術館HP引用)

25

1 (3) 熊本県立美術館

● 昭和51年 熊本県立美術館の開館

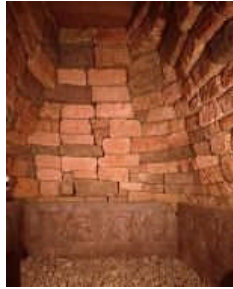


千金甲古墳(甲号)・熊本市
レプリカ
(熊本県立美術館HP引用)

26

1 (3) 熊本県立美術館

● 昭和51年 熊本県立美術館の開館



井寺古墳(嘉島町)
レプリカ
(熊本県立美術館HP引用)

27

1 (4) 熊本県立装飾古墳館

● 平成4年 熊本県立装飾古墳館の開館



山鹿市鹿央町所在
(県立装飾古墳館HP引用)

28

1 (5) 昨今の整備状況

● 大村横穴群(人吉市所在)など

・現状変更(崖面崩落防止)の許可

平成22年12月10日付け22受庁財第4号の1524で
文化庁次長通知

地域住民の安全確保のため、崩落の可能性のある岩塊について、落石防止のためのアンカーピンによる固定

29

1 (5) 昨今の整備状況

● 大村横穴群(人吉市所在)



(人吉市教育委員会提供)

30

1 (5) 昨今の整備状況

- 大村横穴群(人吉市所在)

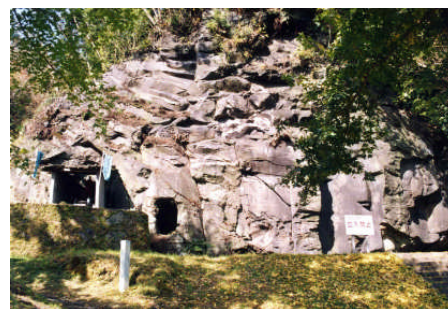


(人吉市教育委員会提供)

31

1 (5) 昨今の整備状況

- 大村横穴群(人吉市所在)



(人吉市教育委員会提供)

32

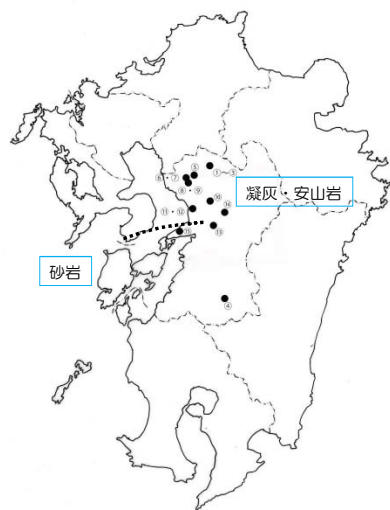
2 近年の課題と今後の方向性

▪ 研究史上、装飾文様、施文場所、埋葬施設の分類は盛ん。
環八代海（不知火海）沿岸の装飾古墳が古いという認識。

- “装飾古墳” がいつ、どこで生まれたのか？
- “装飾古墳” がどのように波及、発展していくのか？

33

2 近年の課題と今後の方向性



34

2 近年の課題と今後の方向性

- 本県の装飾古墳の起源を検討する。
- 全国的に問題となる装飾古墳の保存・活用についても考える契機となる。
- 調査を通じた新たな価値付けができた古墳について、必要な保護措置を講じる。

35

3 環八代海（不知火海）沿岸の装飾古墳の調査概要と方法

- 既存の「装飾古墳総合調査」
 - 県内全域を対象
- ⇔
- 環八代海（不知火海）沿岸の装飾古墳の調査
 - 地域を限定、非装飾の埋葬施設（石棺等）との比較

36

3 環八代海（不知火海）沿岸の装飾古墳の調査概要と方法

● 有識者による検討協議会の開催

- 調査の進捗状況、資料の分析・検討について、必要な指導・助言等を受ける。

Fin